

# 産婦人科学

教授	泉 陸 一
講師	新川 居 正
講師	加藤 藤 義
助手	八木 岸 雅
助手	山留 明 彦
助手	津伏 木 弘
助手	八木 裕 昭
助手	岡田 秀 明
助手	林田 英 樹
助手	脇田 協 善

## ◆ 原 著

- 1) 泉 陸一, 桑原惣隆, 富永敏朗, 川端正清, 杉浦幸一, 館野政也, 千鳥哲也, 大沢 汎, 高邑昌輔, 岡部三郎, 立野育郎, 矢吹朗彦, 松本裕史, 内田 一, 山田 良, 飯田和質, 橘 敏之, 金尾昌明, 麻生武志: 子宮頸癌に対するシスプラチン, ペプロマイシン, マイトマイシンを用いた併用化学療法. 臨床婦人科産科 **43**: 709-713, 1989.
- 2) 白水健士, 川名 尚, 菅生元康, 泉 陸一, 水野正彦: 転移性卵巣癌の臨床. 産科と婦人科 **56**: 76-80, 1989.
- 3) 八木裕昭, 南 敦子, 中山一武, 平井康夫, 山城竹信, 塩川滋達, 山内一弘, 平田守男, 荷見勝彦, 増淵一正: 子宮体部明細胞腺癌の細胞像の検討. 日本臨床細胞学会誌 **28**: 752-757, 1989.

## ◆ 総 説

- 1) 泉 陸一: パルポウイルス. 日本新生児学会雑誌 **25**: 24-30, 1989.
- 2) 泉 陸一: リング病ウイルス (ヒトパルポウイルス) の胎内感染と胎児水腫. 医学のあゆみ **149**: 128-131, 1989.
- 3) 泉 陸一, 川端正清: 卵巣癌の化学療法. KARKINOS **2**: 341-349, 1989.
- 4) 泉 陸一, 岡 秀明: 母子感染の最近の話題パルポウイルス. 周産期医学 **19**: 1527-1531, 1989.
- 5) 泉 陸一, 川端正清: 癌治療学(下), 第II編 器官別療法 8 産婦人科領域 3)子宮癌 a. 病期・病型分類と治療法の選択. 日本臨床 **47**: 58-65, 1989.

6) 川端正清, 泉 陸一: 癌治療学(下), 第II編 器官別療法 8 産婦人科領域 3)子宮癌 b. 外科療法. 日本臨床 **47**: 66-70, 1989.

7) 川端正清, 泉 陸一: 器質性性器出血の診断. 産科と婦人科 **56**: 1051-1054, 1989.

## ◆ 学会報告

- 1) 山岸雅司, 川端正清, 伏木 弘, 加藤 潔, 泉 陸一: ヌードマウス移植継代ヒト子宮頸部腺癌株の抗癌剤感受性について. 第41回日本産科婦人科学会総会, 1989, 4, 岡山.
- 2) 塩川滋達, 横須賀薫, 八木裕昭, 手島英雄, 浜田哲郎, 藤本郁野, 山内一弘, 荷見勝彦, 増淵一正, 南 敦子, 佐野裕作, 平田守男: 増淵式子宮内膜吸引チューブ洗浄細胞診の意義. 第30回日本臨床細胞学会総会, 1989, 6, 東京.
- 3) 八木裕昭, 佐野裕作, 横須賀薫, 手島英雄, 山城竹信, 塩川滋達, 藤本郁野, 浜田哲朗, 山内一弘, 坂本穆彦, 平田守男, 荷見勝彦, 増淵一正: Adenoma malignum の細胞像. 第30回日本臨床細胞学会総会, 1989, 6, 東京.
- 4) 南 敦子, 八木裕昭, 佐野裕作, 坂本穆彦, 荷見勝彦: 子宮頸部腺扁平上皮癌の細胞像と組織像との対比. 第30回日本臨床細胞学会総会, 1989, 6, 東京.
- 5) 古田則行, 手島英雄, 八木裕昭, 平田守男, 山内一弘, 藤本郁野, 荷見勝彦, 増淵一正, 坂本穆彦: 経過観察中に消褪した子宮頸部異型病変の4例—ヒト乳頭腫ウイルス (HPV) 感染との関係を中心に—. 第30回日本臨床細胞学会総会, 1989, 6, 東京.
- 6) 手島英雄, 古田則行, 八木裕昭, 陳 瑞東, 山城竹信, 中山一武, 清水敬生, 横須賀薫, 平井康夫, 浜田哲朗, 藤本郁野: 子宮頸部病変とヒトパピローマウイルス (HPV) との相関. 第30回日本臨床細胞学会総会, 1989, 6, 東京.
- 7) 岡 秀明, 新居 隆, 泉 陸一: 富山県における生殖年齢女性の抗ヒトパルポウイルス抗体保有率について. 第25回日本新生児学会総会, 1989, 7, 東京.
- 8) 津留明彦, 岡 秀明, 伏木 弘, 加藤 潔, 川端正清, 泉 陸一: EMA-CO 療法が奏効したⅢ期臨床的絨毛癌の1例. 第17回日本産科婦人科学会北陸連合地方部会, 1989, 7, 新潟.
- 9) 岡 秀明, 新居 隆, 泉 陸一: 当科における胎児水腫症例の検討. 第17回日本産科婦人科学会北陸連合地方部会, 1989, 7, 新潟.
- 10) 梅澤 聡, 細川 仁, 山岸雅司, 新居 隆, 泉

- 陸一：DIC にいたった急性肝炎合併妊娠の 1 例。第17回日本産科婦人科学会北陸連合地方部会，1989，7，新潟。
- 11) 加藤 潔，川端正清，泉 陸一：結腸癌原発の転移性卵巣癌に関する臨床病理学的検討。第18回日本婦人科病理・コルポスコピー学会，1989，7，東京。
- 12) 手島英雄，藤本郁野，八木裕昭，浜田哲朗，山内一弘，荷見勝彦，増淵一正，Li Xin Cui：尖圭コンジロームにおける HPV (human papillomavirus) の検出<酸素抗体法と In situ hybridization 法を用いて。第18回日本婦人科病理・コルポスコピー学会，1989，7，東京。
- 13) 伏木 弘，山岸雅司，加藤 潔，川端正清，泉 陸一：ヒト子宮頸部癌培養細胞株 (TCO 株) の樹立について。第7回ヒト細胞研究会大会，1989，8，東京。
- 14) 岡 秀明，結城浩良，新居 隆，泉 陸一：婦人科ヘルペス感染症に対するアシクロビルの使用経験。第1回北陸ヘルペス感染症研究会，1989，9，金沢。
- 15) 新居 隆：分娩周辺期における Prostaglandin dehydrogenase の生理的意義。第37回日本産科婦人科学会北日本連合地方部会特別講演，1989，9，福島。
- 16) 八木義仁，津留明彦，伏木 弘，新居 隆，泉 陸一：化学療法で治癒した頸管妊娠の 1 例。第37回日本産科婦人科学会北日本連合地方部会，1989，9，福島。
- 17) 伏木 弘，山岸雅司，加藤 潔，川端正清，泉 陸一：ヒト子宮頸部腺癌培養細胞株 (TCO 株) の樹立とその細胞特性について。第37回日本産科婦人科学会北日本連合地方部会，1989，9，福島。
- 18) 泉 陸一：Quality of Life からみた癌手術療法の進歩—子宮頸癌—。第27回日本癌治療学会総会シンポジウム，1989，10，名古屋。
- 19) 川端正清，伏木 弘，山岸雅司，加藤 潔，泉 陸一：婦人科癌多剤併用療法における各薬剤投与の時間的關係から見た有効性の比較検討。第27回日本癌治療学会総会，1989，10，名古屋。
- 20) 新居 隆，塩崎有宏，岡 秀明，伏木 弘，津留明彦，泉 陸一，小熊 豊，桜川信男：新生児の先天性 AT III 欠損症の一症例。第31回日本臨床血液学会，1989，11，名古屋。
- 21) Oka H., Arai T., and Izumi R. : SEROLOGICAL STUDY ON HUMAN PARVOVIRUS INFECTION IN REPRODUCTIVE AGE AT A DIS-

TRICT OF JAPAN. The 12th Asian Oceanic Congress on Obst. & Gyne. 1989, 12, Taipei, Taiwan.

- 22) Shiozaki A., Yuki H., Sakai M., Hayashida H., Oka H., Tsuru A., Kawabata M., Arai T., and Izumi R. : SUCCESSFUL TREATMENT OF DISSEMINATED INTRAVASCULAR COAGULATION WITH LOW MOLECULAR WEIGHT HEPARIN. The 12th Asian Oceanic Congress on Obst. & Gyne. 1989, 12, Taipei, Taiwan.
- 23) 新居 隆：婦人科領域における腫瘍マーカーの現況—とくに CA-125 について—。第24回富山医薬大医学会学術集会，1989，2，富山。
- 24) 岡 秀明：富山県女性の抗ヒトパルボウイルス抗体保有率と妊婦のヒトパルボウイルス感染。日本産科婦人科学会富山地方部会例会，1989，6，富山。
- 25) 伏木 弘，竹田数章，八木義仁，新居 隆，泉 陸一，丸山明夫，嶋尾 智，増子 洋，広川慎一郎，山下芳郎：出生前に下腹部に Cystic tumor を認め診断に苦慮した 1 症例。北陸先天異常研究会第9回学術集会，1988，11，富山。

## 眼 科 学

教 授	窪 田 靖 夫
講 師	狩 野 俊 哉
講 師	石 田 俊 郎
講 師	田 中 良 則
助 手	開 繁 義
助 手	山 田 成 明
助 手	鍛 冶 兆 宏
助 手	加 藤 剛
助 手	堀 津 良 志
助 手	石 黒 真 美
文部技官	水 見 由 美 子

### ◆ 著 書

- 1) 窪田靖夫：視野障害と交通安全。市川 宏編，眼科MOOK 39，「労働眼科」，72-77，金原出版，1988。

### ◆ 原 著

- 1) 開 繁義，早見宏之，狩野俊哉，窪田靖夫：フマル酸ケトチフェン点眼液の家兎眼角結膜組織に与える影響の検討。日本眼科紀要 40：1242-1248，1989。

### ◆ 症例報告